



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院



患者支援センター

地域医療連携室ニュース

2021年6月号

川崎幸病院 患者支援センター 地域医療連携室 TEL:044-544-4611(代)
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町31番27



低侵襲脊椎脊髄センター開設のご案内



川崎幸病院
低侵襲脊椎脊髄センター長
脳神経外科部長

松岡 秀典

低侵襲脊椎脊髄センターの特徴

- ◆ 365日24時間体制で、脊髄損傷の急性期治療を行っています
- ◆ 顕微鏡手術、内視鏡手術の両方を兼ね備えた質の高い治療を提供します
- ◆ 術中モニタリングという筋電図を用いた電気刺激で神経機能を確認しながら安全に治療します

■ 略歴

2001年3月富山医科大学(現 富山大学)医学部卒業
2001年 京都府立医科大学脳神経外科研修医
2002年 京都第二赤十字病院 脳神経外科
2004年 京都第一赤十字病院 脳神経外科
2005年 京都府立医科大学 脳神経外科助手
2006年 東保クリニック脳神経外科(京都府立医科大学研究生)
2007年 京都府立医科大学附属北部医療センター
脳神経外科、京都府立医科大学脳神経外科併任助手
2009年 総合南東北病院 脊髄外科医長
2012年 三成会新百合ヶ丘総合病院 脊椎脊髄末梢神経外科医長
2021年 川崎幸病院 脳神経外科部長
低侵襲脊椎脊髄センター長 現在に至る

■ 専門分野

脊椎脊髄疾患の全般(変性疾患、外傷、脊髄腫瘍、感染症)、末梢神経疾患

■ 認定資格等

日本脊髄外科学会認定指導医
脊椎脊髄専門医
低侵襲内視鏡手術技術認定医
日本脳神経外科学会専門医

この度、当院の脳神経外科では‘低侵襲な治療’をコンセプトにした低侵襲脊椎脊髄センターを立ち上げることになりました。私は2001年度に京都府立医科大学脳神経学講座に入局し、脳血管障害や外傷など一般的な脳神経外科を学びました。その後、2009年に郡山市の総合南東北病院にて3年間の脊髄外科研修を受けて、2012年から8年半に渡り新百合ヶ丘総合病院の脊椎脊髄末梢神経外科にて脊椎脊髄疾患に特化した医療を継続してきました。そのため頭部～脊椎に至る多発性の外傷に対する治療や四肢の運動機能障害に対する診断、治療に力を発揮できるものと考えております。

これまで当院の脳神経外科では変性疾患、脊椎外傷などの脊椎疾患に対しても幅広く診療を行って参りましたが、24時間365日脳神経外科医が待機している当院の利点を生かして、救急疾患を含めた専門性の高い、高度な治療を個々の患者さんへ提供しようと考えております。脊椎に特化するセンターができた背景には近年の日本の国内における超高齢化社会に伴う脊椎変性疾患の患者さんの急速な増加や地域住民の方々からの強い要望もございます。当科では脊椎脊髄疾患に対する投薬、ブロック注射などの保存的治療に重きをおく一方で、保存治療に抵抗性の場合には積極的な外科治療を介入することにより症状の改善を図ります。



低侵襲脊椎脊髄センターのご案内

対象となる疾患

- ・変性疾患: 頸椎症(頸椎症性脊髄症, 神経根症) / 頸椎椎間板ヘルニア / 腰部脊柱管狭窄症 / 腰椎椎間板ヘルニア / 腰椎すべり症 / 後縦靭帯骨化症
- ・腫瘍性病変: 硬膜内腫瘍 / 隹内腫瘍 / 転移性脊髄腫瘍
- ・感染症: 化膿性椎間板炎 / 椎体炎
- ・頭蓋頸椎移行部病変: キアリ奇形 / 環軸椎亜脱臼
- ・末梢神経障害: 手根管症候群 / 肘部管症候群
- ・脊椎外傷: 脊髄損傷 / 脊椎破裂骨折 / 骨粗鬆症性椎体骨折(圧迫骨折)
- ・骨粗鬆症



手術用顕微鏡



手術用顕微鏡を用いた実際の手術風景

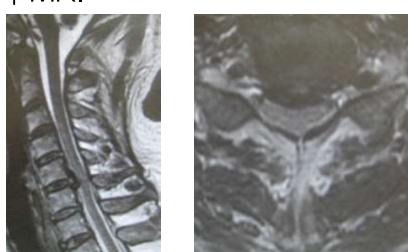


経皮的内視鏡手術のための内視鏡機器
(7-8mmの傷を実現)

➤治療例1 病名: 頸椎症性脊髄症 手術術式: 頸椎前方除圧固定術

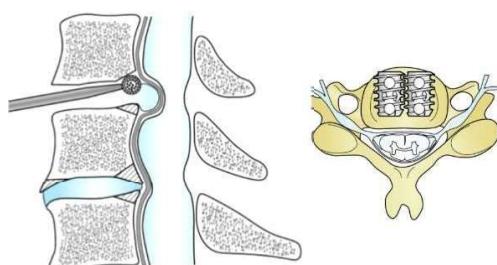
1-2ヶ月前からペットボトルの蓋を開けづらくなってきた。歩行時のふらつき感も伴うため脊髄外科外来を受診された。頸椎MRI検査にてC5/6 レベルに強い狭窄があり脊髄圧迫所見を呈していた。同部位による脊髄症と判断し顕微鏡下に頸椎前方除圧固定術を実施した。術翌日から歩行開始となり術後1週間後に自宅退院となる。頸椎ソフトカラーを約1-2週間の装着を基本としている。手の巧緻機能および歩行障害は速やかに改善した。

術中MRI



C5/6レベルで骨棘により脊髄圧迫
所見を呈している

チタン性ケージを用いた頸椎前方除圧固定術のシェーマ



術中顕微鏡写真



椎間板を摘出したのち骨棘を削除
硬膜囊が減圧された事を確認



チタン性ケージによる固定



低侵襲脊椎脊髄センターのご案内

➤治療例2 病名:腰椎椎間板ヘルニア 手術術式:経皮的内視鏡椎間板ヘルニア摘出術

若年性の椎間板ヘルニアに対しては特に低侵襲な経皮的内視鏡手術を導入しております。創部は僅か7-8mm程度、術翌日から離床開始となり2日後に退院可能な治療です。



直径7mmの内視鏡を使用



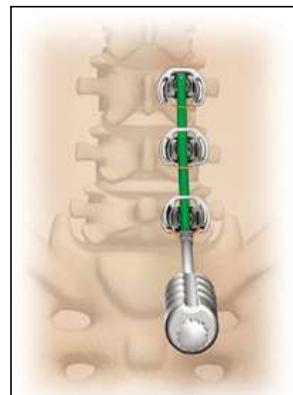
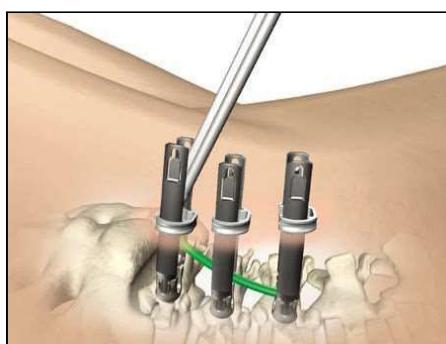
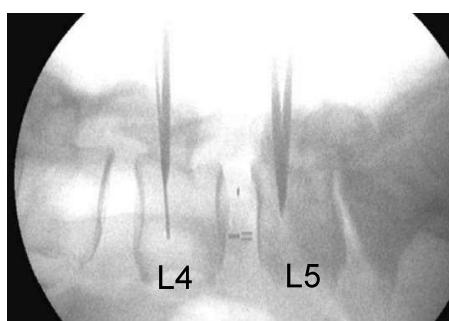
術中所見(青く染めた椎間板)



7mmの傷

➤治療例3 病名:腰椎変形すべり症 手術術式:腰椎後方固定術

腰椎すべり症や不安定性を伴う腰椎症、あるいは外傷などに対しては椎弓根スクリューを使用した固定術が必要になります。特に変性疾患の場合には経皮的スクリューを用いた後方固定術を選択しております。





低侵襲脊椎脊髄センター専門外来のご案内

頸椎～腰椎に至る全脊椎の変性疾患のほか、脊椎外傷・骨粗鬆症の治療に到るまで多岐に渡る診療を展開し、脊椎脊髄疾患に対応できる体制づくりを行なっていきます。手足のしびれ、痛み、巧緻運動障害(細かい作業が困難)、腰痛、歩行障害などの症状でお困りの方はお気軽にご紹介ください。

外来担当表 (2021.5月現在) ※第二川崎幸クリニックで診療を行っております。

脳血管センター 脊椎脊髄専門外来	時間帯	月	火	水	木	金	土
	午前 9:00~12:00	松岡 秀典 神林 智作	神林 智作	神林 智作		神林 智作	神林 智作
	午後 14:00~16:30	神林 智作	神林 智作	神林 智作	大橋 聰	神林 智作	

担当医



低侵襲脊椎脊髄センター副センター長
脳神経外科医長
大橋 聰



第二川崎幸クリニック
脳神経外科部長
神林 智作

診療時間 月～金 午前 9:00～12:00 午後 14:00～16:30 夕方診療 17:00～18:30
土 午前 9:00～12:00

低侵襲脊椎脊髄センターの専門外来は、第二川崎幸クリニックで行っております。
予約制となりますので、下記の予約専用番号へご連絡ください。
また、緊急の場合は川崎幸病院 地域医療連携室までご連絡ください。



社会医療法人財団 石心会
第二川崎幸クリニック

川崎市幸区都町39-1

外来

予約専用 044-511-2112

社会医療法人財団 石心会
川崎幸病院

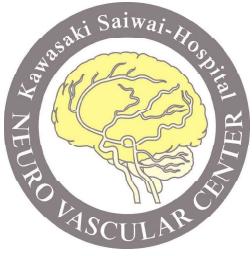
川崎市幸区大宮町31番27

救急/入院



お問い合わせ先
川崎幸病院
地域医療連携室
044-544-4638





川崎幸病院 脳神経外科

脳血管センター

低侵襲脊椎脊髄センター

当センターでは毎日脳神経外科の当直医を配置し、急性期の脳血管障害を主体に、365日24時間体制で診療を行っており、超急性期の脳梗塞に対する血栓溶解療法(rt-PA投与)も積極的に行ってています。また、脊髄脊椎疾患(変性疾患、ヘルニアなど)、脊髄損傷、脊髄血管障害に対応が可能です。



前列左から

松岡秀典 脳神経外科部長
兼 低侵襲脊椎脊髄センター長
壱井祥史 脳神経外科主任部長
兼 脳血管センター長
長崎弘和 脳神経外科部長
兼 脳血管センター副センター長
大橋聰 脳神経外科医長
兼 低侵襲脊椎脊髄センター副センター長

後列左から

橋本啓太 脳神経外科医員
川越貴史 脳神経外科医員
成清道久 脳神経外科医長
野上諒 脳神経外科医員
和出南 診療看護師

